

《めざす教師像》プロとしての自覚と誇りを持つ教職員

☆「教育は人なり」である。子どもを成長させていくためには、教師が資質・指導力の向上を図らなければならない。教師力の向上は、学校力の向上に通じる。

(1) 授業で勝負する教師

- ・「わかる授業づくり」「全ての子どもが参加できる授業づくり」に全力を尽くす教師
- ・学力的にしんどい子の困り感を理解し、支える教師（どの子どもも「わかるようになりたい、できるようになりたい」との想いを内に秘めている）
- ・授業を通して、子どもを鍛え育てる教師（授業は生徒指導の一環）
- ・常に授業力の向上に努める教師（これで良いと思ったら、成長は止まる）

(2) 子どもと共に歩む教師

- ・子どもと本気で向き合う教師（子どもは敏感）
- ・深い愛情とあたたかい心で子どもに接し、認め育てる教師
- ・良くないことは、毅然と叱ることができる教師
- ・子どもの言動の背景を探る教師（まずは、子どもの話を聴く。想いを探る。）
- ・保護者と協力して子どもを育てる教師

(3) 子どもの模範となる教師

- ・自らの言動の子どもに与える影響の大きさを自覚して行動する教師（教師は最大の教育環境）
- ・まず、自ら率先して行動する教師（率先垂範。師弟同行）
- ・学び続ける教師（人から学ぶ、書物から学ぶ）

(4) チームで取り組む教師

- ・「学校は組織である」ことを常に意識して取り組む教師
- ・チーム中町中として、互いに信頼し高め合い支え合う教師集団
- ・教職員全員で子どもを育てる教師集団（しんどい時こそ、みんなで支え合う。みんなで、みんなを）

どれだけ努力したか（努力評価）ではなく、どれだけ成果をあげられたか（結果評価）で、取組を評価する